

JIS

歯付ベルト伝動ーベルト及びプーリ

JIS B 1864 : 2021

(JBMA/JSA)

令和 3 年 2 月 22 日 制定

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒 井 信 介	横浜国立大学
(委員)	秋 山 進	株式会社デンソー (公益社団法人自動車技術会)
	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	市 川 直 樹	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	伊 藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	木 村 たま代	主婦連合会
	佐 伯 誠 治	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	佐 伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	千 葉 光 一	関西学院大学
	寺 澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	奈 良 広 一	長野計器株式会社
	久 田 真	東北大学
	藤 本 浩 志	早稲田大学
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	東京女子医科大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	山 田 陽 滋	名古屋大学
	和 迩 健 二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和 3.2.22

官 報 掲 載 日：令和 3.2.22

原 案 作 成 者：日本ベルト工業会

(〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町 3-3-10-409 TEL 06-6229-0470)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類	2
5 ベルトの呼び方	2
6 ベルトの構造	2
7 ベルトの形状・寸法及び許容差	3
7.1 ベルトの形状及び寸法－ZA 及び ZB	3
7.2 ベルトの形状及び寸法－ZH 及び YH	4
7.3 ベルトの形状及び寸法－ZR 及び YR	5
7.4 ベルトの形状及び寸法－ZS 及び YS	6
7.5 ベルトピッチ長さの許容差及び軸間の振れ	6
7.6 ベルト幅の許容差及び幅方向の振れ	7
8 ベルト試験方法	7
8.1 ベルトピッチ長さ及び軸間の振れの測定	7
8.2 ベルトの振れの測定	12
8.3 ベルト幅の測定	13
9 ベルトの表示	13
10 プーリの呼び方	13
11 プーリの歯溝部分の形状及び寸法	14
11.1 ZA 及び ZB	14
11.2 ZH 及び YH	15
11.3 ZR 及び YR	16
11.4 ZS 及び YS	18
12 プーリの寸法及び許容差	18
12.1 隣接ピッチ誤差及び累積ピッチ誤差	18
12.2 歯先円直径の許容差	19
12.3 最小プーリ歯幅	19
12.4 フランジ寸法	20
12.5 その他の許容値	20
13 プーリ試験方法	22
13.1 一般	22
13.2 歯溝形状	22
13.3 隣接ピッチ誤差及び累積ピッチ誤差	22

	ページ
13.4 歯先円直径	22
13.5 歯幅	23
13.6 フランジ寸法	23
13.7 歯先円周の振れ	23
13.8 側面の振れ	24
13.9 歯幅方向の外径差	24
13.10 歯と軸穴中心線との平行度	24
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	25
解 説	30

まえがき

この規格は、産業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本ベルト工業会（JBMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を制定すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本産業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

白 紙

歯付ベルト伝動—ベルト及びプーリ

Synchronous belt drives—Belts and pulleys

序文

この規格は、2019年に第1版として発行されたISO 21342を基に、対応する部分（形状及び寸法）については対応国際規格を翻訳し、我が国の実情に合わせた測定方法、表示などの追加のため、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格にはない事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

1 適用範囲

この規格は、主に自動車、農機用内燃機関などの一般産業機器に用いる動力伝達用の歯付ベルト（以下、ベルトという。）及び対応する歯付プーリ（以下、プーリという。）の形状・寸法について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 21342:2019, Synchronous belt drives—Automotive belts and pulleys (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0601 製品の幾何特性仕様（GPS）—表面性状：輪郭曲線方式—用語、定義及び表面性状パラメータ

JIS B 1757-3 歯車測定機の評価方法—第3部：平面基準器を用いた歯すじ測定

JIS B 1757-4 歯車測定機の評価方法—第4部：球基準器を用いたピッチ測定

JIS B 1859 歯付ベルト伝動—用語

JIS B 7502 マイクロメータ

JIS B 7507 ノギス

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、JIS B 1859によるほか、次による。

3.1

ピッチ円周

プーリの歯ピッチ (P_b) にプーリ歯数 (z) を乗じた値。